

JISA 標準化委員会主催 IoT 技術標準化セミナー

平成 29 年 1 月 23 日に標準化委員会(委員長:伏見諭 東海大学情報教育センター)の主催による IoT 技術標準化セミナーが開催され、41 名が参加した。

はじめに伏見委員長より JISA 標準化委員会の活動内容が紹介された。同委員会は 1990 年代から活動を始め、情報規格調査会等へのリエゾン活動等を継続している。JISA は現在も情報規格調査会の規格賛助員であり、標準化委員会へ参加することで SC 討議に加わることが可能なので、参加希望者は連絡して欲しい。また、委員会では「ITビジネスに役立つ規格・ガイドライン」を分かり易くまとめ、随時最新化に努めているので、ぜひ活用して戴きたい、と呼びかけた。

「ITビジネスに役立つ規格・ガイドライン」は以下 URL を参照

http://www.jisa.or.jp/it_info/engineering/tabid/1074/Default.aspx

続いて新世代 M2M コンソーシアム理事兼(株)日立製作所 IoT ビジネス推進統括本部主管の木下泰三氏より「世界の IoT の技術標準化・ビジネスアライアンス動向と注目株」のテーマで講演が行われた。

IoT をめぐる様々な動向を技術標準化の切り口とビジネスアライアンスの切り口で分類すると、2 年半前の時点でも前者が 100 グループ、後者が 80~90 グループが存在し、合わせると 200 弱の団体がそれぞれの思惑で活動するなど乱立乱戦の状況にある。

そのうち技術標準化の切り口で大別すると、下記3グループ6分野に分類される。

(1) 通信・インターネット系

- ① OneM2M、ITU-T(通信キャリア系):SG20統合など
- ② IETF、W3C(インターネット系):Web of Thingsなど

(2) 電気・産業制御系

- ③ IEC/TC(産業制御業界系):SG8、TC65、MSBなど
- ④ JTC-1(ISO/IEC)、ISO(電気業界系):WG10、TC184など

(3) P2P・スマデバI/F系

- ⑤ IEEE(IT機器IF業界系):P2413、802. 11/15、1888、など
- ⑥ Open(モバイル、家電系):OMA、OASIS、BBF、HGI、OSGi、など

また、業界アライアンスの切り口で大別すると、下記3グループに分類される。

(1) 異業種エコシステム系

- ①I4、IIC、DMDI、AIOTI、IoT World Forum、中国製造2025

(2) リーダ企業中心系

- ②ASA、OIC、Thread、HomeKit、e-F@ctory、Open Fog Consortium

(3) 同業種・同分野チーム系

- ③PCHA、NGM2M、IVI、VEC、RRI、World/Bridge/Global-Alliance

講演ではこの分類を軸として技術標準化やアライアンスの動向の詳細な説明が行われ、日本の状況として国内最大のM2M民間団体の「新世代M2Mコンソーシアム」や工場を繋いで物作りを進める日本版I4.0とも言われるIVI (Industrial Value Chain Initiative) などの活動が紹介された。

(佐藤)

